

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2017.9) 平成28年度:85.

前立腺全摘除術における手術部位感染

石上 香, 松本 成史, 大崎 能伸

## 前立腺全摘除術における手術部位感染

旭川医科大学病院 感染制御部 ○石上 香・松本 成史・大崎 能伸

【目的】ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術 (Robotic-assisted Radical Prostatectomy: RARP) による手術部位感染 (Surgical Site Infection: SSI) は、従来の開腹手術と比較して有意に減少していると海外では報告されているが、本邦での報告は皆無である。RARPと開腹手術と比較してSSIがどの程度減少しているか、またRARP術前の臍処置の有無により感染の頻度が変わるのかを確認する。

【方法】当院で施行された開腹前立腺全摘除術およびRARP症例の診療記録から国公立大学感染対策協議会サーベイランスのSSIサーベイラン

スの定義に従って、SSI発生の有無を後ろ向きに調査した。本研究は旭川医科大学倫理委員会の承認を得て実施した。

【結果】RARP113症例 (臍処置有97、無16) にSSIは認めなかったが、開腹手術40症例にSSIは1例に認めた。RARPの臍処置前処置は、その有無に関わらずSSIは認めなかった。

【結論】RARPは清潔術式に区分されており、海外の報告同様、SSIの発生は認めておらず、感染対策上において安全な術式であると判断される。